

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	新潟県立佐渡総合高等学校
授業者	東京大学大学院の田口康大特任講師

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

ふるさと佐渡未来探究学

#### 1-2. 学年

1 学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」

#### 1-4. 単元の概要

- 6月26日（金）探究学習の基本、働くこと、勤労に関して 2時間  
東京大学大学院の田口康大特任講師より（Cisco Webex Meetings を活用したオンライン講演）
- 7月3日（金）インタビュー方法について（1回目） 2時間  
東京大学大学院の田口康大特任講師より（Cisco Webex Meetings を活用したオンライン講演）
- 7月10日（金）インタビュー方法や夏季休業中課題（インタビューと写真の撮影）についてと写真の撮影方法について 2時間 東京大学大学院の田口康大特任講師、写真家の小倉快子様（Cisco Webex Meetings を活用したオンライン講演）
- 8月7日（金）夏季休業中課題に向けて 模擬インタビューと写真撮影練習 2時間
- 8月28日（金）インタビューの文字起こしと写真の送付 2時間
- 9月4日（金）インタビューの文字起こしの方法とまとめ方に関する指導（執筆にあたっての考え方やルール、編集の視点を学ぶ） 2時間 東京大学大学院の田口康大特任講師より（Cisco Webex Meetings を活用したオンライン講演）
- 9月11日（金）9月4日の指導を受けてのまとめ 2時間
- 10月30日（金）編集者からの訂正を確認し、打ち直し 2時間
- 11月13日（金）編集者からの打ち直し（必要な生徒のみ） 2時間

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

佐渡には、高齢化や職業の減少など、数多くの課題が山積している。そのような中で、島内唯一の産業教育を受けることのできる本校の担うべきことは多い。

本校の生徒が1年次に履修する「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」において、保護者や家族などの身近な職業人にインタビューを実施し、コミュニケーション能力の育成を図りたい。また、佐渡に現存する職業について、インタビューをとおして肌で感じてほしい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ 聞く力や話す力をはじめとしたコミュニケーション能力
- ・ 故郷である佐渡に関して、理解を深めようとする態度
- ・ 多種多様な職業について理解を深めること

1-7. 単元の展開（全 18 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	探究学習の基本、働くこと、勤労に関して	東京大学大学院の田口康大特任講師より（Cisco Webex Meetings を活用したオンライン講演）
2	インタビュー方法について（1回目）	東京大学大学院の田口康大特任講師より（Cisco Webex Meetings を活用したオンライン講演）
2	7月10日（金）インタビュー方法や夏季休業中課題（インタビューと写真の撮影）についてと写真の撮影方法について	東京大学大学院の田口康大特任講師、写真家の小倉快子様（Cisco Webex Meetings を活用したオンライン講演）
2	夏季休業中課題に向けて （模擬インタビューと写真撮影練習）	本校1学年所属教職員 ワークシートへの記入量とインタビューへの意欲
2	インタビューの文字起こしと写真の送付	本校1学年所属教職員 インタビューの文字起こしと写真の送付
2	インタビューの文字起こしの方法とまとめ方に関する指導（執筆にあたっての考え方やルール、編集の視点を学ぶ）	東京大学大学院の田口康大特任講師より（Cisco Webex Meetings を活用したオンライン講演）
2	まとめ作業	本校1学年所属教職員 作業スピードや写真の選定
2	編集者からの訂正を確認し、打ち直し	本校1学年所属教職員
2	編集者からの打ち直し（必要な生徒のみ）	本校1学年所属教職員

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

「探究学習」について理解を深め、今年度実施する自分たちの取り組みが、故郷である佐渡にとって、どのような影響を与えるかを考える

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 探究学習とは</li><li>○ 仕事の 2 つの側面<ul style="list-style-type: none"><li>① 自分の可能性を追求する</li><li>② 「何かのためになっている」「何かとの関係を築いている」</li></ul></li><li>○ 佐渡島で「はたらき、くらす」ということを考える（どんなことを考え、感じ、思いながらはたらいているのだろう）</li><li>○ 具体的には「佐渡で働き、クラス人たちにインタビュー」する</li><li>○ 模擬インタビュー</li><li>○ インタビューで感じたこと、思ったことをまとめる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 東京大学大学院の田口康大特任講師より（Cisco Webex Meetings を活用したオンライン講演） ※ プレゼンテーションソフトでスライドを作成し、投影。</li><li>○ 田口特任講師が作成してくださったワークシートへ自分の考えを記入</li><li>○ 近くの生徒同士で模擬インタビューを実施し、感じたこと、思ったことをワークシートへ記入する。</li></ul>

### 3. 今回の活動の自己評価

学力の差が著しい本校の生徒では、取り組みに差がありインタビュー実施の期限、原稿の提出期限、写真の提出期限が、なかなか守られず、関係各所に多大なるご迷惑をおかけした。しかし、1年次在籍96名全員のインタビュー内容を載せことができ安堵している。

本校は島内で唯一の専門教育を学ぶことのできる高等学校であり、「農業」や「工業」を学ぶ生徒の中には、一定数、高校卒業後に就職する生徒がいる。そのような現状の中で、身近な職業人にインタビューを実施した結果、「働くことや勤労」に関して、自分ごととして捉え、将来の職業を真剣に考え始めた生徒が多く見られた。生徒の成長を実感している。

学校内でも、他学年の職員が本事業に興味をもち、新1学年からも、興味・関心があるということ言われている。学校内での継続性は期待できる。

### 4. 今後の課題

1年間で掛けて作成した成果物（図書）を今後、どのように活用し、発信していくかを学年全員で考え、学校や地域の発展に寄与していきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

本事業を実施前に、学年団や学校内運営組織で綿密な計画作成を行うこと。また、生徒共に本事業のゴール（目標）をしっかりと共有すること。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。